

# こころん通信

第 17 号

平成 21 年 1 月発行

発行者: NPO 法人こころん (生活支援センターこころん)

〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸 9

TEL: 0248-54-1115 FAX: 0248-53-3063

MAIL: kokoron@r2.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.cocoron.or.jp>



## あらたなマイルストーン

新年あけましておめでとうございます。米国の経済破綻を受けて、世界中が多大の影響を被っています。わが国内においても雇用問題ひとつとりあげても悩ましい事態です。

NPO 法人こころんは発足以来丸 5 年が経ちました。現在、こころや、なごみの家、グループホームを加え、所帯も大きくなりました。地域の中で公益的な役割をはたしている存在で、社会福祉法人として活動して行くことが次の一里塚になると考えています。

職員はもとより、ボランティアの方々の不断の協力の下、これまでに得た貴重な経験と知恵とを、充分連携を保ちつつ活用して行けるものと確信しています。それらの積み重ねが、利用者の方々の自立支援につながって行く筈です。

得てして、世の中の変化に右往左往させられがちになります。ひとつのことにとらわれ過ぎず、動いている中で工夫をこらさなくてはなりません。昨年のは「変」でした。ここ百年の間に自動車の普及と共に人のモービリティ(移動)は大きく変化しました。そのお陰で、こころやにもたくさんの方々がお見えになりますが、もろもろの事を考えていくと、こころでわれわれも Changer la vie(生活を変えよ)ということに立到っているのかも知れません。

本年も何卒、御支援、御協力お願い申し上げます。

NPO 法人こころん理事長 関 元行

## 目次

P1・・・新年のご挨拶

P2・・・こころんまつり

P3・・・クリスマス会・アート展

P4・・・このごろのこころや(生産者会議)

P5・・・こころや(惣菜コーナー・生産者紹介)

P6・・・みんなの広場(カラーセラピーほか)

P7・・・こころん就業セミナー報告

P8・・・行事予定

# 第5回こころんまつり開催

2008年10月19日、第5回こころんまつりを開催しました。(第1会場：泉崎村中央公民館、第2会場：直売・カフェ こころや)

天候にも恵まれ、500名を超える来場者と楽しい1日を過ごすことができました。

今回のテーマは、「もっともっと知って下さい、私たちのことを」。ステージの部では、同テーマでこころんのメンバーが発表をしました。こころや、こころん、なごみの家、あけぼの荘、こころんはうすの各施設の利用者が、自分の現状や将来の目標について語りました。



メンバー&スタッフで再結成した「THE CORORONS」は、新曲を披露して会場を盛り上げました。

もっと  
もっと

## 知ってください 私たちのことを



こころん祭りでは、施設紹介を担当しました。一週間前から原稿作成や施設長と打合せをし、当日を迎えました。

私なりに2年間のこころやでの訓練、それによる自分自身の成長について話しました。他の5人の利用者も、それぞれの目標に向かって努力していることなどを述べました。

また2周年目を迎えたこころやにおいても、協力して下さる生産者の皆様や、固定客の方々への感謝も気持ちも伝えました。

それから、今後さらにキメの細かい接客を心掛けること、品数を増やすこと、そして地域に愛される直売所として、スタッフ・利用者一丸となり頑張りたいと締めくくりました。

短い紹介ではありましたが、多くの来場者に耳を傾けてもらったのは、嬉しい限りでした。今後も元気なこころやを応援して下さい！よろしくお願いします。(佐藤栄一)

### アトラクション

#### 【ステージ】

こころんってこんなところ

~もっともっと 知ってください 私たちのことを~

コールいずみ(コーラス)

THE CORORON'S(バンド演奏)

四季彩 舞(よさこい)

ドリームアロハーズ(フラダンス)

泉崎さつきレクダンス

こころや2周年記念抽選大会



#### 【常設コーナー】

健康コーナー、カラーセラピー

茶会、キッズコーナー、バザー

施設展示(泉崎村障がい者支援センター

”

NPO法人 こころん

### 模擬店

泉崎名人会(手打ちそば)

おらが村特産品開発実行委員会(おやき)

三部やきそば隊

ととろ班(豚汁)

日本赤十字奉仕団泉崎支部(おこわ)

なごみの家(たこ焼き、コロケ)

直売 カフェ こころや



こころんまつりの模擬店は、美味しいものばかり！と大好評

# 美味しい楽しいクリスマス会



こころんはうすのみんなで歌った「手紙」は、歌詞がこころに響く素敵な歌でした。

昨年 12 月 16 日、生活支援センターにて NPO 法人こころんのクリスマス会を開催しました。

こころや、こころん、なごみの家、あけぼの荘、こころんはうすの各施設から参加。食事会の後、各施設の発表、ゲーム&クイズ大会、恒例のプレゼント交換などを楽しみました。

参加しました!

私はクリスマス会でコントをやりました。

みんなの笑顔が見られたので、何時間も練習練習したかがありました。

すべてスタッフの小川さんの台本のおかげです。ありがとうございました。(ボウル)



あまりに美味しそうなので、撮影前に食べちゃいました。ゴメンナサイ



ゲーム「震源地は誰だ!」  
会場は大爆笑!



メンバー 3 名で作ったというオリジナル曲は、皆の思いがこめられた感動の歌でした。

## チャリティアート展

11 月 29 日・30 日の 2 日間、生活支援センターにてこころんチャリティアート展を開催しました。25 名の作家が参加、200 点以上の作品が並び、盛況でした。

会場ではお茶会やカフェコーナーも用意し、芸術作品に囲まれてゆったりした時間を過ごすことができました。



### こころんアート展 レポート

アート展も今回で 4 度目になりました。今回はどうなったのでしょうか。

結果として、初日に多数の作品が売れ、2 日目にも作品は売れました。大盛況とっていいでしょう。

私はコーヒーを出す係りをしていましたが、コーヒーの注文はひっきりなしで、大忙しでした。茶道コーナーも盛況でした。

私が嬉しかったことは、カラーセラピーと絵画教室の作品がほとんど売れたことです。地域の芸術家だけではなく、私たち利用者の絵も評価されたことが嬉しかったです。

2 日目の交流会では、和やかなムードで、鍋パーティーをしました。来年もうまくいくようにと思っています。(中谷常盤)

このごろの

直売 カフェ こころや

このコーナーでは、こころんが運営する職業訓練施設「直売 カフェ こころや」の最近の様子をお伝えします。

## 生産者会議「食と農を守る」



昨年11月17日(月)、こころん交流室で「こころや生産者会議」が開催されました。日頃こころやに納品している生産者・取引企業・メンバーなど約30人が参加しました。

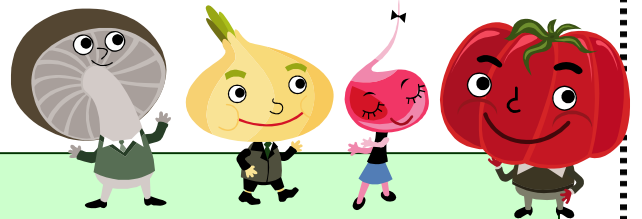
まず太田酢店・太田実社長より「食と農を守ること」と題して、講演並びに勉強会がありました。続いて、集まった生産者達で「こころや農産物のブランド化」について話し合われました。

これは、こころやに出荷する農産物の栽培履歴等・諸条件を具体化、また一元化し、こころや独自の農産物・加工品をお客様に提供するというものです。

昨年6月の生産者会議で鏡石の井上さんから提案があった事項で、今回も多く時間をさいて話し合われました。賛同してくれる生産者も多く、より中身の濃い議論がなされました。また、別の会をもうけてということになりましたが「こころやブランド化」は大きく一步を踏み出すことになりました。今後もこの議題は話し合われることとなります。

その他、平成21年度から実施される消費税の導入・こころや運営基準の見直し・各生産者による生産物カレンダー等、多くの事項が議題となりました。

## 生産者会議に参加しました!



食という、人間にとって根本的なものが、今危うくなっています。そんな現状を良くしたいと思い、活動している方々がいます。幸いにも、こころやに関わっている生産者の多くはそういう方々たちです。

食品の考え方という話がありましたので、紹介します。

### 【1】こだわりの本質

身体が喜ぶもの

おいしいものを大切に作る。

原料へのこだわりも資材へのこだわりも自分の目的を追求する手段

### 【2】1.5次産業

1次産業だけでは生き延びれない。良いものを作っても、ハネものを捨てては帳尻は合わない(大豊作の時など典型)などです。

生産者の方々は、皆製品にこだわりを持っておられます。こころやにとって嬉しいことです。今後は、安心、安全の保証が絶対条件だ。という意見が出ました。そして、今の日本の家庭では、日本食はあまり食べられていないという現状があります。

「食」は大事な文化です。今、「食」を見直し、大切なものを後世に伝えることが必要だと感じました。(中谷常磐)



# おふくろの味、新発売

こころやでは、昨年末にこころやオリジナル惣菜の販売を開始。生産者から納品された新鮮野菜を使ったおふくろの味は、お客様にも好評です。惣菜担当スタッフの福田さんに話を聞きました。

記者：こころやで惣菜部門はいつから始まりましたか？

福田：11月から試験的に販売を始め、12月から商品数を増やしてきました。

記者：何人ぐらいが担当していますか？

福田：スタッフの3名と、メンバーでは5名くらいの方に野菜等を切ったり、パック詰め、ラベル出力などを手伝ってもらっています。

記者：メインの商品は何ですか？また1日何種類ぐらい出されていますか？

福田：常時販売しているのは、きんぴらごぼうとポテトサラダです。毎日お昼ぐらいには売り切れます。午前中は当日食べていただきたい惣菜、物、午後は日持ちのするもの(じゅうねん味噌・煮豆)などを作っています。

記者：惣菜部門のどこをピーアールしたいですか？

福田：低価格・無添加・自然食品の利用・家庭の味です。

記者：今後どのような形で、惣菜部門を発展させたいですか？

福田：「こころやの を食べたい」という、来店動機になる惣菜を作りたいです。昨年好評だったゆず巻き大根は、家庭ではなかなかできない手間のかかる料理です。このような調理をメンバーに仕事として身に付けてもらいたいです。

徐々にお客様にこころやの味が馴染んできたと感じます。これからももっと生産者の農産物のPRする惣菜を作っていきたいと思います。



安心・美味しい・安いで文句なし！のきんぴら。売り切れゴメンの人気商品です。

## 生産者インタビュー

### 秋山幸吉さん (アグリハウス秋山)

こころやにいちごが並ぶ季節になった昨年12月、いちごの生産者の一人・須賀川市の秋山さんの仕事場を訪ねました。毎年12月から4月にかけて、いちご(とちおとめ)をこころやに出荷して下さいます。

秋山農園は現在、3棟のハウスがあり総面積は2,700㎡。夜間8℃、日中27℃から28℃にハウス内を保っています。また、光合成が活発になるように、ハウス内の二酸化炭素を増やしたり、この時期地温が低いので、土に有機質の肥やしを使い、いちごの「根はり」を良くし、冬の寒さに耐えられるようにしています。

12月に取れるのが第一花房。3月に取れるのが第三花房。一本の木から5、6花房、約50粒の莓が取れるそうです。11月から6月までいちごの栽培・収穫に追われるそうです。



こころやで提案している「ブランド化」についても、協力してくださるという前向きな言葉もいただきました。

いちご市場の差別化を狙い、「顔」の見える直売所での販売に今後も力を入れていくという。この時期、こころやで秋山さんの「とちおとめ」に人気があるのも分かります。

こころやで3月に開催する「いちご祭り」が楽しみです。



# みんなのひろば

## こころんってこんなところ★カラーセラピーの巻

こころんでは月2回、絵画やカラーセラピーの講師を招いて、思い思いの絵を描く楽しい日があります。

実は、僕が初めてこころんを利用した日がこの日でした。初日ということもあり、始めは不安でいっぱいでした。でもその不安はいつの間にか楽しさになっていました。

初めてで緊張している僕を、こころんの皆がやさしい笑顔で迎えてくれました。その日初めて体験したのがカラーセラピー。正方形の紙に描く。テーマは「まる」。楽しい会話をしながら、それぞれが自分の思う「まる」を描きました。

使う色、丸の形、テーマに捕らわれずに自由に描いていきます。先生、スタッフ、メンバー、皆が笑顔で、楽しくその時間が僕にとって一番素敵な「まる」でした。

今思うと、その気持ちがその日に描いたまるの絵に出ていたと思います。僕にとって、とても印象的で素敵な日でした。今でも毎回セラピーの日を楽しみにしています。

(K.O)



生活支援センターこころんでは木曜日の午後、カラーセラピー、絵画教室、書道教室などを開催しています。お気軽にご参加ください。  
\*こころん利用者以外の参加は200円が必要です。

## 放課後 (ポエム)

だけど 君は 僕の心は いつも 一緒さ  
歩む時は違う

二つの心 感じる世界 みんな違う  
君はいつでも 僕のことを 考えてくれたね

みんなで歌った あの日  
みんなで掴んだ 栄光  
みんなで流した 涙  
僕にとって 大切な宝物だよ

泣いた日 笑った日  
いつも君は 優しい目で  
暖かく 見守ってくれたね  
今も君は あの時の目で  
僕を 見つめてくれるかい

感じる時と 歩む時 すべて 君とは違う  
だけど 思い出だけは  
君と一緒に 止まっているよ

月は いつも冷たく 僕を 照らしてくれる  
だけど 君はいつも 暖かく 照らしてくれたね

(ヒカリ)

## ジグソーパズルで謹賀新年!

新年初めての生活支援センターこころん開所日、1,000ピースのジグソーパズルを作り始めました。

似たような色、柄が多く何度もくじけそうになる中、こころんを訪れるメンバーが入れ替わり立ち替わり少しずつピースを埋めていき、2週間後によく完成しました。

根気がある人、勘がいい人、にこにこ見守っている人、パズルに取り組む姿に、今まで知らなかった面を見せてもらいました。

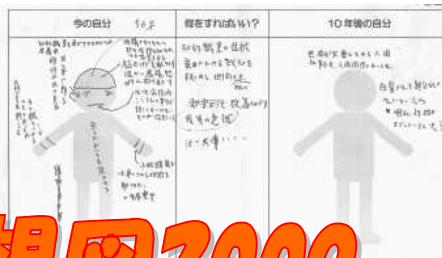
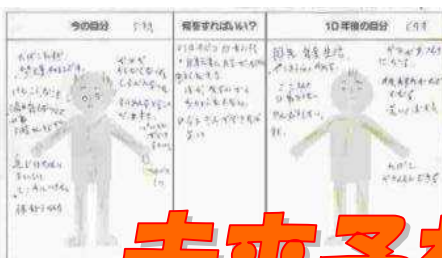
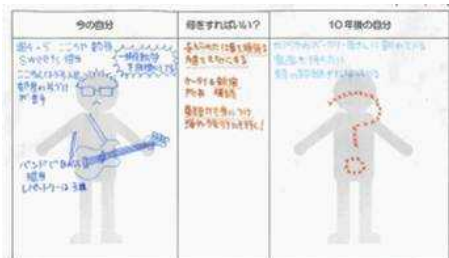
(のんき)





# こころん就業セミナー

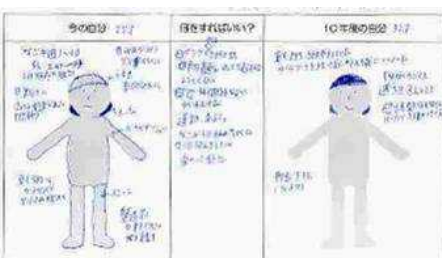
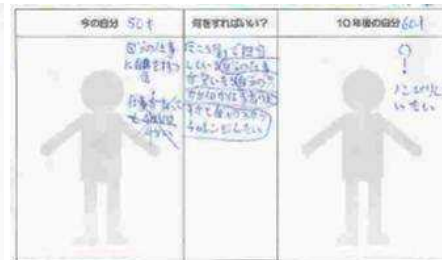
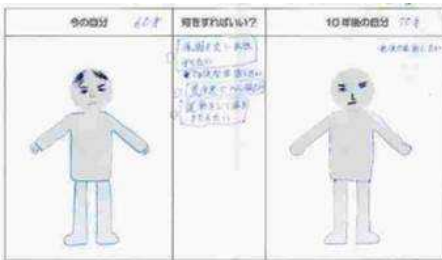
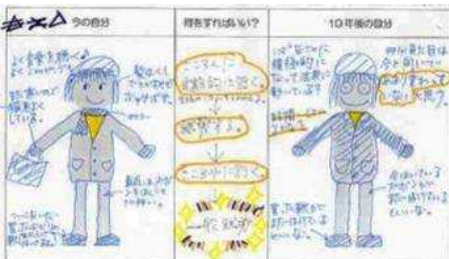
こころんでは一般就労を目指す方を対象に、月1回就業に関する勉強会を開催しています  
その内容の一部をご紹介します



## 未来予想図2009

1月20日の就業セミナーでは、「未来予想図2009～なりたい自分になるために」をテーマに、現在の自分を見つめなおし、10年後にどんな自分になりたいかを考えてみました。それぞれ理想の自分になるためにやるべきことを書き出し、今年取り組む課題を3つ選びました。

「一般就労したい」「家庭をもちたい」「禁煙したい」「ダイエットしたい」「のんびり暮らしていきたい」…人によって目標もいろいろ。それぞれの希望がかなえられるよう、今年もメンバーとスタッフがともに1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。



## 10月21日 企業が求める人材とは

昨年10月21日の就業セミナーは、(株)朝日ラバーの兼谷正男氏を招いて企業が求める人材について、お話をいただきました。

まず始めに、ウイスキーと小声で、ニッコリ微笑んでいる事の大切さなど、ユーモアを混ぜ、スライドも使い話されました。

そして、挨拶をあしっかり交わす事、また当会社には、ろう啞ながら無欠席の社員の方がいるなどの話を聞きました。

休憩をはさみ、参加者からの質問です。皆就職についてリスクをおう事を、積極的に問い、時間が終了しました。

企業には、精神障害を持っている人たちをもっと理解してもらい、受け皿になっていただけたらと思いました。(細腕繁盛記)



寄付・寄贈をいただいた方 (敬称省略・順不同)

太田 実 小林徳男 高安喜一 小泉圭二

新しく会員になられた方 (敬称省略・順不同)

《正会員》大川原八重子 井戸沼利幸 伊藤路子  
《賛助会員》佐藤岩信 関根考迪



会員募集のお知らせ

NPO 法人ころんは、ご支援くださる会員を募集しております。

《正会員》 年間 1口 3,000円 《団体会員》 年間 1口 5,000円  
《賛助会員》 年間 1口 1,000円

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします

お 知 ら せ

❄️ 活動報告

- 11月1・2日 泉崎村民文化祭出品
  - 11月15日 第2回家族教室  
\* 障害者福祉制度や社会資源の情報について
  - 11月17日 ころんや生産者会議
  - 11月18日 就業セミナー  
\* 福島障害者職業センター見学
  - 11月21日 地域清掃活動
  - 11月22・23日 職員研修旅行
  - 11月25日 そば打ち体験
  - 11月29・30日 チャリティアート展
  - 12月15日 環境整備活動
  - 12月16日 クリスマス交流会
  - 12月20日 第3回家族教室  
\* 情報交換と交流会
  - 12月26日 大掃除&昼食会
- 平成21年
- 1月7日 ころんや初売り
  - 1月20日 就業セミナー  
\* 未来予想図2009~なりたい自分になるために
  - 1月22日 料理教室
  - 1月27日 カラオケ大会

❄️ 今後の予定

- 2月3日 豆まき&福茶
- 2月9日 お菓子作り
- 2月13日 源流の里交流会  
At サンルート白河
- 2月24日 アイススケート
- 2月17日 就業セミナー  
\* 接客マナー講習会参加
- 3月上旬 ころんやいちごまつり
- 3月10・11日 JANNET 福島フィールド研修
- 3月14・15日 精神障害者中央就業セミナー

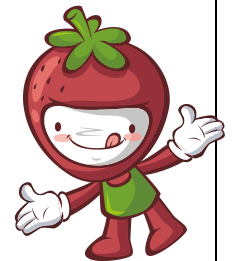
精神障害者中央就業セミナー

テーマ：働く喜びを届けよう  
~ 当事者からのメッセージ  
日程：3月14日(金)・15日(土)  
会場：幕張メッセ  
\* 2日目のシンポジウム「こうしたから今がある」で、ころんメンバーが発表します。



2月28日・3月1日開催予定  
直売・カフェころんや  
いちごまつり

ころんや特製いちごスイーツ、4L苺大福、ロールケーキ等新鮮いちごをお届けますお楽しみに!



..... 編集後記 .....

11月に開催されたアート展に、カラーセラピーと絵画教室生徒の作品を展示販売しました。カラーセラピー作品は、お値ごろ価格でもあり、見事完売! 今月の表紙に使った作品(テーマは山)を見ても、メンバーの腕が技術・感性ともにレベルが上がっており、うっとりしてしまいます。ころんで、いつでも自由に作品が作れるようパステルなどの筆記具を用意しました。たくさんのすばらしい作品が生まれたら、2010年はころんオリジナルカレンダーを作りたいと密かに企んでいます。(植木)